

青少年に輝かしい未来を

更生保護婦人会

明和町更生保護婦人会（会長 中村幸子さん）の会員8名が7月1日、役場を訪れ、「青少年の未来を考える『社会の母から』のメッセージ」を齋藤町長に手渡しました。社会を明るくする運動を展開している16人の会員が、駅前や街頭でチラシなどを配布して青少年の非行防止を呼びかけたものです。同会では、メッセージの中で、「21世紀を担う青少年が明るい希望のもとに今日を生き、輝かしい未来を拓いていける社会を築きましょう」と青少年の非行防止と健全育成の推進を行政側に求めました。



メッセージを齋藤町長に手渡す中村さん

より一層ご理解いただくために

介護保険出前講座



熱心に説明に聴き入る皆さん

7月15日に田島集会所で介護保険出前講座が開かれ田島地区の39名が参加しました。この講座は、平成12年度にスタートした「介護保険制度」をより一層理解していただくために、希望する団体のもとに役場の担当職員が伺い内容を説明するものです。

この日はビデオや職員の説明により、介護保険の利用方法や保険料の仕組みを学びました。参加したお年寄りは「とても勉強になりました。日ごろの健康管理に気を付け、毎日を元気に過ごすことも大切ですね」と話していました。

昔遊びは楽しいね

寿学級生と幼稚園児が世代交流

寿学級では、幼稚園児との世代交流会を7月9日、明和幼稚園で開き、「こま」や「紙飛行機」作りを行いました。交流会は、お年寄りと園児が昔遊びを一緒に楽しみながら、世代間の交流を図るのが目的。会場では、お年寄りと園児86人が段ボールをハサミで切り取りこまを作って回したほか、紙飛行機を折って遠くに飛ばしていました。寿学級生は「童心に戻ってかわい子どもたちと楽しく過ごすごとができ、よい思い出になりました」と笑顔で話していました。



紙飛行機づくりに取り組む園児

ゆとりを持った安全運転を

おはようママ作戦



交通安全を呼びかける館林女性ドライバークラブ

夏の県民交通安全運動期間中の7月12日、館林女性ドライバークラブの皆さんが、明和幼稚園・保育園で子どもを送りとどけるお母さんたちを対象に、チラシや反射材、リサイクルバックを配りながら「お子さんのためにも安全運転をお願いします」と交通事故防止を呼びかけました。

最近、交通事故が激増しており、交通事故総量減少緊急対策を実施しています。皆さん、朝・夕のラッシュ時間帯は、事故も多発しています。早めの出発と、ゆとりを持った安全運転を心がけましょう。